

中山道まめ知識
 旅は「物見遊山」が一般的
 行李をついでにはるか遠路へ
 庶民の一般的な旅は、寺社参詣や
 温泉場の湯治など「物見遊山」が
 一般的。旅をするのは経済的・時間
 的に余裕のある人たちが大半で、長
 丁場にわたることが多かった。半纏
 (はんでん)や襦袢(じゅばん)に合
 羽や行李(こうり)、提灯が必要。

12 地藏堂
 鴻巣市箕田
 中宿橋を経て、忍行田道がわかる
 追分の左側が中山道。その路
 傍に地藏堂が見えてくる。古びた
 祠が、長い歴史を物語る。

13 一里塚跡
 鴻巣市前砂
 中井のあたりは一面の田園風景で、
 その昔は富士山も望めたという。
 吹上町に入るとすぐ左手に一里塚
 の史跡がある。

14 妙見地藏堂
 鴻巣市本町1丁目
 踏切を越えて左折すると、左手に
 は妙見地藏堂があり、小さな祠に
 地藏が鎮座している。この地藏の
 由来を解説する説明板もある。

15 吹上郷土資料館
 鴻巣市南1丁目
 江戸時代以降の生産道具・生活用
 具を中心とした資料館。また吹上駅
 で昭和59年まで使用されていた。現
 存する日本最古の鉄道用レール(1882
 年製)も展示されている。

16 東曜寺
 鴻巣市本町4丁目
 明治9年(1876)の火災によって
 焼失、その後再建された。墓地に
 は寛永、正保銘の宝篋印塔が見ら
 れるが、正確な創建の年は不明。

17 吹上神社
 鴻巣市本町4丁目
 東曜寺に隣接する吹上地区の鎮守。
 明治40年(1907)に、上分の氷川社、
 中分の稲荷社、下分の氷川社の3
 社が合祀されてきた。

18 権八延命地藏堂
 鴻巣市前原
 荒川土手の手前にひっそりと建つ
 地藏堂には、その首殺人を犯した
 白井(平井)権八という男が、地藏
 に口封じをした伝説がまつわる。

19 熊谷堤
 熊谷市久下
 荒川の洪水を防ぐため、天正年間
 に鉢形城主の北条氏邦が築いた
 とされる熊谷堤。明治16年(1883)
 の植樹を機に桜が1000本近くに
 増え、関東屈指の桜の名所となっ
 た。その後戦災などでその大半が
 失われ、現在桜の木は1本もない。

20 久下一里塚跡
 熊谷市久下
 一里塚跡は荒川土手の下に位置し、
 土手の中腹あたりが中山道の通
 っていた所。この手前50mほど熊
 谷寄りには馬頭観音がある。

21 久下神社
 熊谷市久下
 右手に建つ久下村の鎮守。明治
 43年(1910)に三島明神と周辺の
 10社を合祀、さらに大正2年(1913)
 14社を合祀し、この名になった。

22 権八地藏
 熊谷市久下
 堤に上る旧道の右手に建つ地藏
 堂は、元禄11年(1698)にできたもの。
 権八延命地藏堂と同じ由来をもつが、
 どちらが本物かは不明。

中山道まめ知識
 荒川とともに歩んだ久下は
 舟交通の拠点として繁栄
 鎌倉時代に久下権守直光の領地
 であったためこの地名が根づいた。
 江戸時代、忍藩領下であったこの
 地は荒川の氾濫で度々大きな被害
 を受ける。しかし川筋の全面改
 修を行ったことで舟の交通が発達し、
 物資の集積地として栄えた。



資料館の利用案内
龍屋歴史資料館
 ●鴻巣市人形1丁目4番21号 ●TEL 048-541-1451
 ●開館時間 9:00~17:00 ●入館料 一般500円・学生200円
 ●休館日 木曜・日曜・年末
吹上郷土資料館
 ●鴻巣市南1丁目10番5号 ●TEL 048-548-3696
 ●開館時間 9:00~16:30 ●入館料 無料
 ●休館日 月曜日・水曜日・木曜日・金曜日・第2、第3、第4日曜日

11 箕田追分
 鴻巣市箕田
 鴻巣宿から一里ほど行くと、箕田
 村の追分に着く。ここから北の道
 は三ツ木・川面を経て、忍(おし)
 や館林城下へと向かう。

中山道まめ知識
**今も語り継がれる
 権八延命地藏堂の伝説**
 この地藏は別名「物言い地藏」。
 歌舞伎にも登場し、後に処刑される
 白井(平井)権八がこの堤で納商
 人を殺害。そばの地藏に「誰にも
 言わない」と口止めたところ、「私は
 言わぬが、おぬしも言うな」との言
 葉が返ったという伝説による。

18 八王子千人同心街道(忍城の忍道)
 鴻巣市東郷2丁目
 本町交差点を右折すると、関東7名
 城のひとつ、忍城への忍道(旧道)
 となる。忍城の築城は文明年間ある
 いは延徳年間頃とされている。

23 権八地藏
 熊谷市久下
 堤に上る旧道の右手に建つ地藏
 堂は、元禄11年(1698)にできたもの。
 権八延命地藏堂と同じ由来をもつが、
 どちらが本物かは不明。